



インフォ・アクセス

島根大学医学図書館ニュース

2012年2月29日 発行

Vol. 8, No. 2(2012年2月)

News !

3月の開館予定について

3月の**土日**及び**祝日**は**休館**します。

*ICカードによる入館はできます。

月～金曜日は**短縮開館**します(9:00～17:00)

*休館日及び17時以降は暖房が入りません。

3階自由閲覧室は**閉室**します。

2012年03月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9:00 17:00 / 短縮開館						休館日

Contents

3月の開館予定	1
『日本看護学会論文集』が電子化!	1
『最新看護索引Web』のトライアルについて	1
図書館TIPS	2-3
医学図書館のうごき	4
閲覧室の放置荷物対策について	4
閲覧室のパソコンについて	4
編集後記	4

『日本看護学会論文集』が電子化!

これまで継続購入を行っていた日本看護協会が出版する『日本看護学会論文集』の冊子体が、第41回(2010)を最後に販売中止となりました。今後は、4月より図書館が導入する「最新看護索引Web」から電子版の利用が可能となります。

日本看護協会の会員は、無料でJNA-会員ダイレクト(https://direct.nurse.or.jp/jna_system/JNA_ninsyou.asp)より『最新版看護索引Web』および『論文集(電子版)』が利用出来ます。

第42回『老年看護』が最初の電子版として公開中です。



『最新看護索引Web』のトライアルが3月5日から始まります!

4月1日から日本看護協会が提供する文献データベース『最新看護索引Web』を正式に導入する事となりました。「日本看護学会論文集」など、看護および周辺領域の雑誌・紀要等に掲載された1987年以降の文献約19万件が検索可能です。先月2月には、フルテキスト(PDF)閲覧機能が追加され、更に便利になりました。

正式導入に先立ち、**3月5日(月)からトライアル利用**を開始します。

看護の**実践・研究・教育**に是非ご活用ください。

⇒お問い合わせ先: 内線2094(中井)

Shimane University Library Academic Resource Bank

図書・雑誌 | 電子ジャーナル・電子ブック | 論文・記事 | その他の情報ソース

各分野の論文・記事を探すためのデータベースの一覧です。

全分野 | 人文科学 | 社会科学 | 自然科学 | 医学・看護学 | 技術・産業 | 新聞 | その他

医学

EBMR(OVID) | イギリスのコクラン共同計画により作成されている、科学的根拠に基づいた医療をめざす文献データベース。7種類のデータベースからなる。 | マニュアル | 詳細

看護学

最新看護索引Web

日本看護協会が提供する看護文献データベース。『日本看護学会論文集』など、看護および周辺領域の雑誌・紀要等に掲載された文献の中から看護の実践・研究・教育に関する約19万件の文献を検索することが出来ます。(※日本看護協会会員は、協会ホームページの「会員の皆様」より無料で使えます(要登録)。) | マニュアル | 詳細

◎フルテキスト(PDF)閲覧機能追加リニューアル(2012年2月16日)◎
 ◆トライアル期間:3月5日～3月31日
 ◆正式利用:4月1日～

同時接続ユーザー数: 3

- ◎アクセス方法: 図書館HPより
- 電子リソース(Academic Resource Bank) >
 - 論文・記事(を探す) >
 - 医学・看護学 >
 - 看護学



図書館を利用する際に知っておくと便利な情報をお伝えします。

文献管理ソフト

RefWorks

EndNote Web

文献管理ソフトとは？

● 大学における研究・教育・学習・診療その他調査活動に必要な、文献情報はWebデータベースや電子ジャーナル、検索エンジン経由で、その種類や情報量も次第に膨大なものに成りつつあります。これらの学術情報の効率的な管理・保管、論文作成時の引用文献作成や研究グループ間での情報共有や公開支援等に役立つのが“文献管理ソフト(ツール)”です。文献管理ソフトは従来のPC版からWeb版への展開により、ネットワーク上のパーソナルアーカイブとして、Webソフトの特性や機能を生かした多様な活用ができます。

● 島根大学のキャンパス内からは、サイト契約を行っている“RefWorks(ProQuest社)”や、引用文献データベース「Web of Knowledge」の付帯サービスである“EndNote Web”(トムソン・ロイター社)が利用でき、日本語にも対応しています。EndNote WebはPC版EndNoteの簡略版で、保存文献・フォルダ数、検索機能、PDF添付等に制約がありますが、Web上でお手軽に利用できます。



RefWorks (レフワークス, ver.2.0)

RefWorksは、文献データなどの学術情報を管理・活用するためのウェブサービスで、ソフトウェアのインストールや更新が不要で、アカウント取得後は、学外からでも自由にWeb上のフォルダにアクセスできます。RefWorksは、PubMed, Web of Science, Google Scholar, 医中誌Web, CiNii Articleなど、和洋文献データも同時に管理でき、多様な文献管理機能を提供します。

● 主な機能

- ① データソースの検索結果から文献データ情報等のインポート
- ② 登録文献データの整理・保存・検索
- ③ 論文執筆時における参考文献の引用支援
- ④ 投稿誌フォーマットによる参考文献エクスポート
- ⑤ 文献フォルダのWeb上での共有・公開
- ⑥ 文献データへの添付ファイル付加など

● 利用の開始

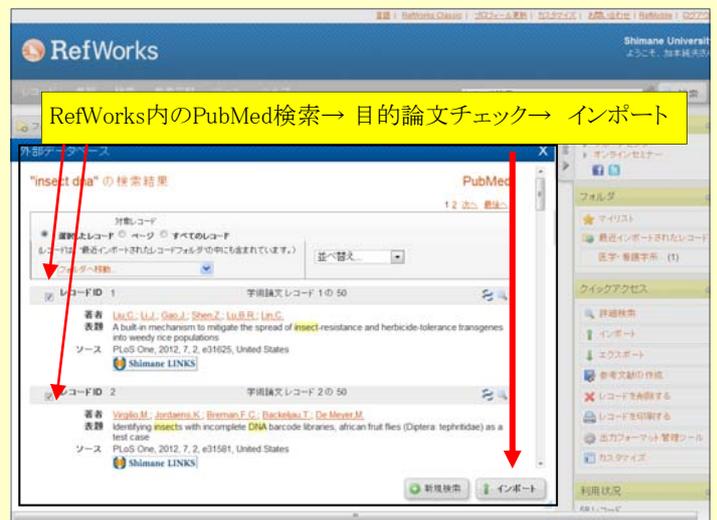
・RefWorksは、まず最初に以下のサイトに大学キャンパス内からユーザ登録を行いアカウントを作成する必要があります。

◆ 図書館HP → Academic Resource Bank → その他の情報 → RefWorks → ログインセンター → アカウント発行(メール返信)

・上記、RefWorksの頁では、登録の注意事項、日本語マニュアル、データベースからのインポート方法、最新機能説明、動画によるオンラインユーザズガイドなど、多くの利用支援情報を提供しています。

医中誌Webの文献データエクスポート

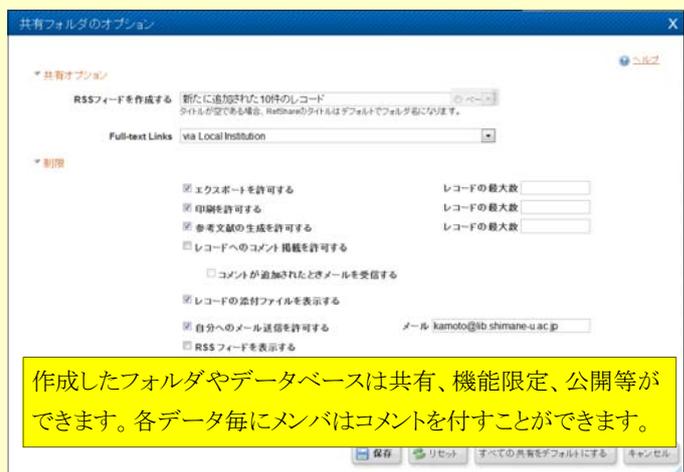
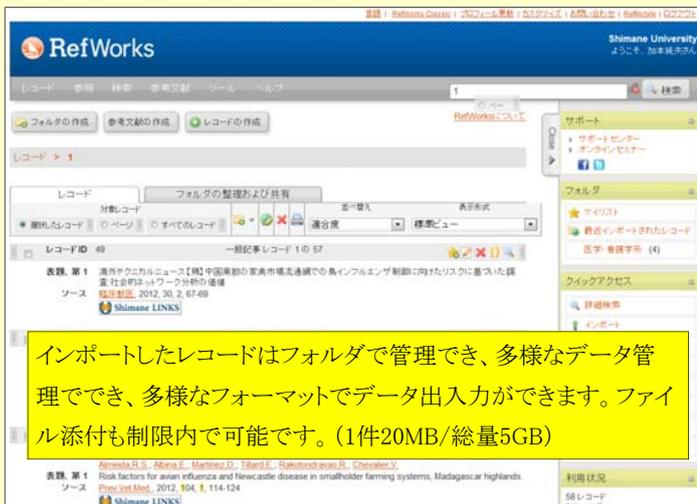
PubMed の文献データのインポート



- <インポート各種>
- ① “ShimaneLINKS”の中間画面下部の“RefWorks”リンクから論文単位でのインポート
 - ② “島大アカデミックサーチ(360Search)”データベース検索結果のチェックリストからエクスポート機能を利用した一括取り込み
 - ③ ダイレクトインポートができないデータベースは、テキストファイル出力後、RefWorksのインポート機能を使用(EndNote互換)

RefWorksファイル管理画面

RefWorks共有設定(RefShare)



- ・RefWorks Q&A (日本語版) => <http://www.refworks.com/jp/faqs.asp?l=japanese>
- ・最新の改修で「レコードのドラッグ&ドロップ操作」や、携帯電話から利用可能な「RefMobile」等の新機能が付加されています。
- ・学外からのアクセス時に要求されていたグループ(機関)コードの入力は、最近の機能改修で不要になりました。



EndNote Web (エンドノートウェブ, ver. 3.3)

文献管理・論文執筆支援ツールとして定評のある“EndNote”のWeb(機能限定)版で、Web of Knowledgeのプラットフォーム上から利用できます。日本語文献にも対応済みで、多様なデータベースから簡単な操作で文献データをインポートし、管理できます。

●主な機能

- ①Web上のMy Libraryに10,000件までの文献データ等を保存
- ②3,600種以上の投稿規程スタイルを搭載
- ③各種データベースやOPACに接続して、検索やインポート
- ④Word文書で簡単に引用文献の編集が可能
- ⑤EndNote Webは、同一ソフトウェア間でのみ共有が可能
- ⑥ソフトのインストール、更新が不要

●利用の開始

・EndNote Webは、大学キャンパス内から「Web of Knowledge」の“My EndNote Web”を呼び出して、ユーザ登録を行いアカウントを作成する必要があります。既にWeb of Knowledgeのアカウントがある場合は、そのままEndNote Webも利用できます。

Web of Science 文献データのインポート



◆ 図書館HP → Academic Resource Bank → 論文・記事 → Web of Science → My EndNote Web → ユーザ登録 → アカウント発行(メール返信) → 学内外から利用開始(情報共有はEnd Note Webユーザ間)

EndNote Webサポートセンター(日本語) => <http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/enw/support/>
 ※サポートセンターHPからは、簡易マニュアル、音声ガイド、検索のヒントなど利用に必要な情報が提供されています。

<その他の文献管理ソフト、比較情報など>

文献管理ソフトはRefWorksやEndNoteのような商品版のほか、基本的な機能を押さえたフリーのものも多数あります。以下の2つは文献管理ソフトの中でも評価が高いフリーソフトです。フリー系の文献管理ソフトは、PDFなどへの総容量対策として有料版への移行、ソフト自体やWord等とのVersion適合、国内外文献混在時の日本語対応など、ソフトによりクリアすべき諸課題があります。

- Mendeley (メンデレー) ... クラウドコンピューティング仕様 <http://www.mendeley.com/features/read-and-annotate/>
- Zotero (ゾテアロウ) ... FireFoxの機能拡張として設定。 <http://www.zotero.org/>

※ 文献管理ソフト比較(英語版) http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_reference_management_software

第1回 第5期学術基盤整備計画策定専門委員会

平成24年1月31日(火) 13:00~14:00 松江地区本部棟4階中会議室、出雲地区本部棟3階小会議室(TV会議)

1. 趣旨、構成メンバー、スケジュール・検討事項の確認
2. 学術情報基盤整備計画の現況
3. 第5期学術情報基盤整備計画(平成25-27年度)の基本方針の策定について
4. 電子ジャーナル等の利用に関するWebアンケートの実施について

◎上記4.を受けて、2月1日より20日まで、島根大学全構成員にアンケートを実施しました。

このアンケート集計結果等を参考に、基本方針策定に向け審議されることとなります。



お知らせ

閲覧室の放置荷物対策について

医学図書館は、学部生850名の学習拠点として、年間20万人前後の入館者がいます。これに対し、2階閲覧室の机は101脚、椅子は182脚です。学生は手持ち資料が多いため、1机を1人で使い、有効座席は机数に近いのが現状です。混み合う試験期は、持ち主は不在にも関わらず、席は荷物で埋まっているという、写真のような状態になります。後から入ってきた利用者はフリー席がないので図書館での学習をあきらめたり、カウンターに苦情を申し出たりします。



図書館も長年にわたって対策に取り組んでいます。荷物を持って退館を促す掲示を行なった上で、職員が1日2回、9時、18時に周回し、放置荷物を室内随所に置いたワゴンに移動して席を空けています。昨年4月から本年1月までの10ヵ月間に回収した荷物は、5,000ヶに上ります。

こうした状況の改善を図る参考にしようとして、昨年10月、放置荷物に対する利用者意見を募集しました。全体として放置荷物回収に賛同、その他では、荷物の多い時だけの限定回収、カウンター内に回収を強化、回収時間の変更希望、トイレタイムに回収されてしまった、席がもっと多かったらよい、1人用の机を増やす、などのご意見がありました。ご意見を受けて、4月から午後の回収時間を変更し、9時、17時15分とします。

さらに、できるだけ多くの学生に座席を提供できるよう、現在の閲覧室スペースの中で机を増やせないか検討しますが、将来的には、十分な学習席をどのように確保提供できるか、医学図書館の課題となっています。

閲覧室のパソコン5台が新しくなりました！

平成23年度予算で文献検索コーナーのパソコン9台のうち、5台を新調しました。OSはWindows 7です。動きが軽く、インターネットもすいすい出来ます。どしどしご利用ください。

また、これまで使用していたパソコン5台は、松江キャンパス総合情報処理センターを通じて、「東日本大震災 被災中小企業復興支援 再生PC寄贈プロジェクト」へ寄贈しました。

編集後記



今月は積雪で交通に影響が出たり、インフルエンザが大流行したりと、いろんなトラブルの多い月でしたね。ちなみに我が家は、雪害はもちろんでしたが、インフルエンザにもしっかり感染してしまいました。体調管理が難しい季節ですが、春は目の前！暖かくして、この時期を乗り切りましょう。

発行日 2012(平成24)年 2月 29日
発行者 島根大学医学図書館
〒693-8501 出雲市塩冶町89-1
TEL:0853-20-2092 FAX:0853-20-2095